

授業の改善・充実（国語）

3つのキーワード

1 単元をつくる

主体的

共有

吟味

「単元に合った言語活動」を位置付けましょう

- ・ 単元のねらいに合った、最適な言語活動を位置付け、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする授業を行う。
- ・ 授業での自分の学びを振り返る。
⇒ 主体的に学習に取り組み、課題を解決していく力に結びつける。

他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動などに関連させましょう

- ・ 日常生活において「話す・聞く」「書く」「読む」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が総合的に活用される機会を積極的に計画する。
- ・ 連続型テキスト（文と文章から構成されたもの）や非連続型テキスト（図やグラフ、表など）を組み合わせたり関連させたりしてそれらを読み取り、自分の考えをもつ。

2 授業をつくる

子どもたちは

教師は

導入

主体的

つながる導入

既習内容や前時とのつながり、疑問から課題をもち、見通しを持つ

必要性を感じる課題

疑問を基に、子どもが「やってみよう」と思える課題を、子どもと一緒に作る
付けたい力を明らかにし、言語活動を計画する

展開

共有

共有で他から学ぶ

根拠や理由と共に自分の考えをもち、他と交流してものの見方や考え方を広げる

確かな読みと考えの構築・共有

叙述に即し、辞書や資料から導き出した自分の確かな考えを交流させ、多様な考え方や意見に気付かせ、広げさせる

吟味

練り上げ吟味する

課題解決に向け、自分の考えを練り上げ話し合う

話し合いでつなぐ

子ども一人一人の考え・根拠・理由をひきだして可視化し、比較検討させ、考えを練り上げる
多くの考えを生かし、よりよい考えを再構築させる

終末

主体的

主体的に振り返る

学習活動で学んだことを振り返り、次時の目標を確認する

学びを実感する振り返り

学習活動や思考の過程を振り返らせ、身に付けた力や他と共に学ぶよさを実感させる
次の学習に生かす意欲を高めさせる

課題の解決に向けた学習活動の展開と、その過程での学びの振り返り

学校図書館の充実・活用（豊かな感性や情操を育む読書センター、児童生徒や教師が学ぶ学習・情報センター）